

# ジェンダーと表現を考える

## 情報に表れるステレオタイプを知ろう



家族のイラスト



会社紹介のイラスト

### 強く頼もしい男と、優しく支える女？

4ページの2つのイラストを見てみましょう。家族と会社紹介のイラストです。雑誌や広告等で似たような構図がよく使われていますね。ですが、注意してみると、ここにはジェンダーに関わる様々なステレオタイプ(多くの人に浸透している固定観念や思い込み)が表れています。

例えば、家族のイラストには、妻が夫に寄りかかり、赤ちゃんを抱いている、女の子はぬいぐるみ、男の子はサッカーボールを持っているという特徴があります。また、会社紹介のイラストでは、腕組みをした男性が中央に立ち、その隣に笑顔の女性が寄り添っています。どちらのイラストでも、女性は暖色、男性は寒色の服を着ていて、男性の方が背が高く、女性の方が

背が低く描かれています。このようなイラストや写真には、「育児やサポートは女性のもの」、「アクティブに動いたりリーダーを務めるのは男性」、「ピンクやオレンジは女性らしい色、青や緑は男性らしい色」等のジェンダーバイアス(社会的性差における偏見)が反映されていることが多いのです。それでは、これらのポーズや配置、配色等を変えて

みましょう。5ページ上部のイラストでは、よりジェンダーにとらわれない表現になりました。私たちの社会には、積極的で統率力のある女性もいれば、ケアが得意で穏やかな男性もいます。ジェンダー表現を工夫することは、このように多様な個性を持つ人がいることを表し、古くからの性別役割分担意識や固定的なイメージを変えていくうえで大きな意味を持ちます。

